

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
門池北部地区

平成27年8月

静岡県沼津市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	新規住宅着工数	戸	201	290	364	確定 見込み ●	○	あり ● なし	372	H27年 4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業や関連事業の実施によって宅地開発が進み、住宅着工が活発に行われている。
指標2	居住環境の改善率	%	28	60	55	確定 見込み ●	△	あり ● なし ●	54	H27年 4月	△	岡宮北土地区画整理事業に遅れが生じているため <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値は達成しなかったものの、土地区画整理事業の実施により宅地の造成が進んでいる。
指標3	公共空地(学校・公園)までの所要時間	分	5.4	2.5	2.5	確定 見込み ●	○	あり ● なし	2.5	H27年 4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園の整備により、アクセスが改善され、最寄りの公共空地までの所要時間が短縮された。
指標4						確定 見込み		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	居住人口(門北北部地区、岡宮地区)	人	728 5,584	/	1,149 6,101	確定 見込み ●	/	/	1,156 6,165	H27年 4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業や関連事業の実施によって、居住環境の改善が進み、地区内の居住人口が増加した。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	道路・公園等の都市基盤と各宅地における敷地内環境整備を適切に誘導し、地区全体の居住環境の維持・向上を図ることが必要	●1号公園共用開始に際し、地元住民と植樹を行った。 ●地域住民より情報提供のあった道路の危険箇所について警察等と協議を行った。	●親子の遊び場として公園が利用されるようになった。 ●公園周辺で美化活動を行う住民が見られるようになり、居住環境の向上に繋がった。	●引き続き区内道路における規制等について警察と協議を行う。 ●施設管理者と地域住民が関係を図りながら、適切な維持管理を実施していく。
	避難場所としての公共空地について、各宅地の最寄り場所を周知させると共に、定期的な訓練等により災害時に備えることが必要	●地域住民に対し、1号・2号公園の供用開始に際し、回覧文書を回付した。	●地区内の避難場所の周知がなされた。	●災害時に必要な情報を共有し、防災意識の向上を図っていく。 ●地域の防災組織を通じ防災訓練を実施するなど、さらに防災に対する住民意識の向上を図っていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	公共空地への移動空間の改善	●実際に歩行することで、危険箇所等を洗い出し、移動経路の維持管理を行った。	●公共空地へ向けた、安全・快適な移動経路の確保が進んだ。	●地区内未整備箇所についても引き続き整備を進めていく。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項